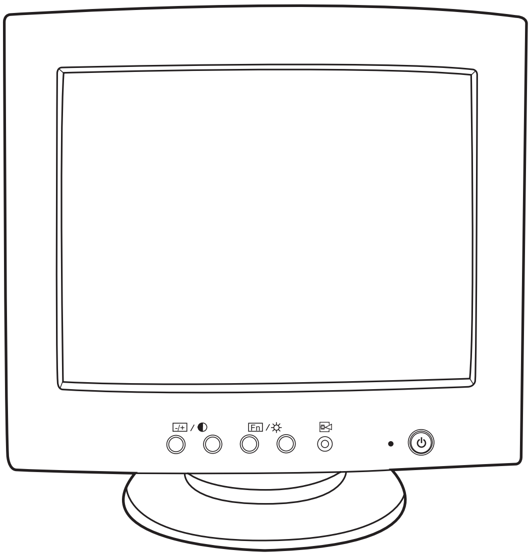
TOSHIBA

カラーCRTディスプレイ15型-A
取扱説明書

IPCD042A



ご使用の前に、『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お客様に安全に作業していただくための注意事項です。

安心してお使いいただくために

ご使用の前に、この「安心してお使いいただくために」と本書の内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
本書をお読みになった後は、本機のそばなど、いつも手元に置いてご使用ください。
本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、お買い求めいただいた製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。
お子様がお使いになるときは、保護者の方が取扱説明書の中身をお読みになり、正しい使い方をご指導ください。

表示の意味

⚠ 危険	“誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う危険が、差しせまって発生する可能性があること”を示しています。
⚠ 警告	“誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性があること”を示しています。
⚠ 注意	“誤った取り扱いをすると、人が傷害*1を負う可能性、または物的損害*2のみが発生する可能性のあること”を示しています。

*1：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさす。
*2：物的損害とは、家屋・家財、および家畜・ペットに関わる拡大損害をさす。

図記号の意味

△	**この図記号は危険（警告、注意含む）を促す事項を示しています。** 具体的な警告内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。
⃠	**この図記号はしてはいけない行為（禁止事項）を示しています。** 具体的な禁止内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。
●	**この図記号は必ずしてほしい行為（強制事項）を示しています。** 具体的な強制内容は図記号の中や近くに絵や文章で示しています。

免責事項について

●地震・雷および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
●本製品の使用、または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記憶内容の変化、消失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
●取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
●当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

安全上のご注意

⚠警告

■本体の取り扱いについて

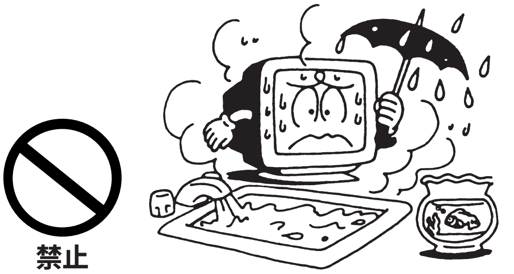
●分解・改造・修理しないこと

火災・感電、故障、ケガのおそれがあります。
修理は、お買い求めの販売店、またはお近くの保守サービスに点検を依頼してください。
本製品を分解した場合、保証やその他のサービスは受けられません。

分解禁止

●ふろ場など、水がかかったり、湿気の多い場所に置かないこと

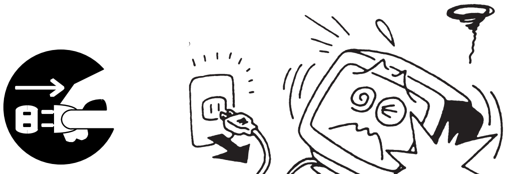
感電のおそれがあります。



禁止

●もし、落としたり、強い衝撃を与えたときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使用すると、火災・故障のおそれがあります。
点検は、お買い求めの販売店、またはお近くの保守サービスに点検を依頼してください。



電源ﾌﾟﾗｸﾞをｺﾝｾﾝﾄから抜け

●もし、異常な臭いがしたり、異常音がしたり、発煙したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜くこと

そのまま使うと、火災・故障のおそれがあります。
修理は、お買い求めの販売店、またはお近くの保守サービスに点検を依頼してください。

電源ﾌﾟﾗｸﾞをｺﾝｾﾝﾄから抜け

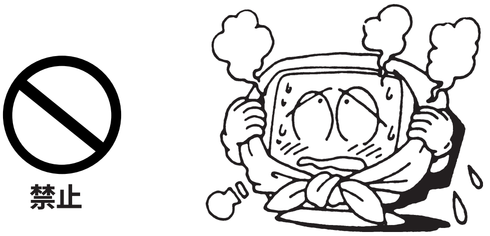
●コップ、花びんなど、液体の入った容器を上にのせたり近くに置かないこと

液体がこぼれて内部に入ると、感電のおそれがあります。
また、物が落ちたときにけがをするおそれがあります。
もし、液体が内部に入ったときは、電源を切り、プラグを抜いてお買い求めの販売店、またはお近くの保守サービスに点検を依頼してください。

禁止

●通風口をふさがないこと

内部に熱がこもると、火災のおそれがあります。



禁止

警告

■電源コードの取り扱いについて

●電源プラグの刃にほこりが付着している場合は、装置の電源を切り、電源プラグを抜いてから乾いた布などで清掃すること

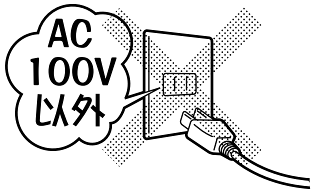
電源プラグの絶縁低下により、火災のおそれがあります。

強制

●電源プラグは、AC100Vコンセントに差し込むこと

それ以外のコンセントに差し込むと、火災のおそれがあります。

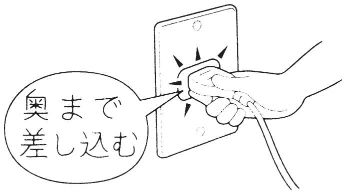
強制



●電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込むこと

確実に差し込んでいないと、火災、感電のおそれがあります。

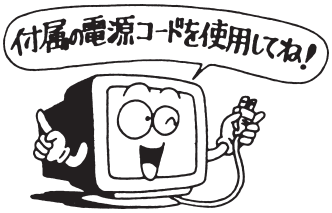
強制



●電源コードは本体付属品を使用すること

それ以外の電源コードを使用すると、火災のおそれがあります。

強制



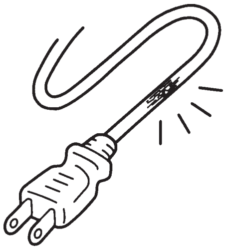
●電源コードを取り扱うときは、次の点を守ること

・傷つけない	・コードをつぎ足さない	・ドアにはさまない
・強く曲げない	・ねじらない	・余ったコードを束ねない
・引っ張らない	・加熱しない	・机、家具等を乗せてつぶさない
・熱器具を近づけない	・加工しない	・クギやステープルで固定しない
・物を乗せない		

守らないと、火災・感電のおそれがあります。

もし、電源コードが傷ついたときは、お買い求めの販売店、またはお近くの保守サービスに依頼してください。

禁止



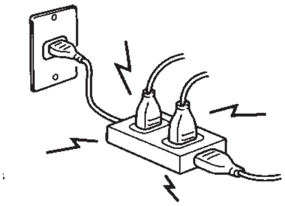
⚠警告

■電源コードの取り扱いについて

●コンセントや配線器具の定格をこえる使い方をしないこと

タコ足配線などで定格をこえると、火災、感電のおそれがあります。

強制



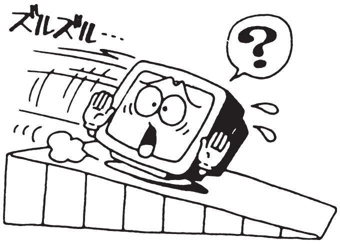
⚠注意

■本体の取り扱いについて

●ぐらつく台の上やかたむいた所など、不安定な場所に置かないこと

落ちたり、たおれたりして、ケガをするおそれがあります。

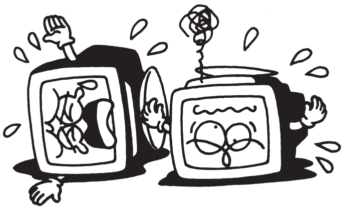
禁止



●電源を入れた状態で、あお向け、横たおし、逆さまにして、使用しないこと

内部に熱がこもり、発火のおそれがあります。

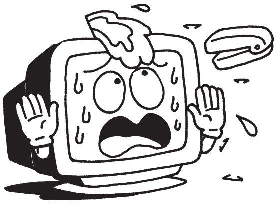
禁止



●ステープルやクリップなどの金属類を内部に入れないこと

ショートし、発煙、発火のおそれがあります。

禁止



●画面を下にして置かないこと

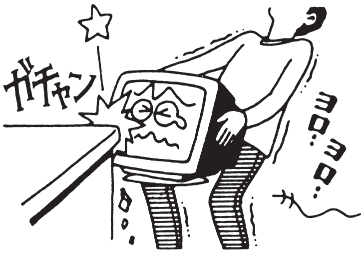
画面が破損(はそん)し、けがをするおそれがあります。

禁止

●移動したり、持ち運ぶ前に、電源コードと信号ケーブルを取りはずすこと

取りはずさずに移動したり持ち運ぶと、ディスプレイが落ちて、けがをするおそれがあります。

強制



●ぶら下がったり、上に乗らないこと

ディスプレイがたおれたり、落ちたり、破損(はそん)すると、けがをするおそれがあります。

禁止

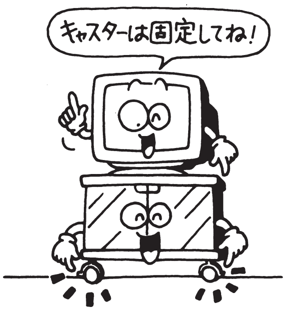
⚠注意

■本体の取り扱いについて

●車（キャスター）付きの台に置いたときは、キャスターが動かないように固定すること

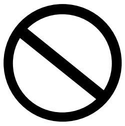
固定しないと、台が動いてディスプレイがたおれたり、落ちたりし、けがをするおそれがあります。

強制

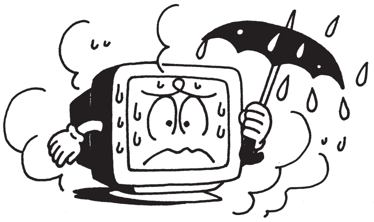


●雨、きりなどが直接入り込むような場所では使用しないこと

雨、きりが付着して、火災、感電のおそれがあります。



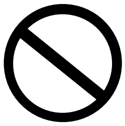
禁止



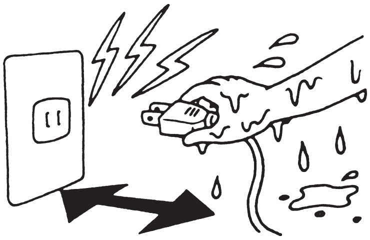
■電源コードの取り扱いについて

●ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないこと

感電のおそれがあります。

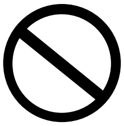


禁止

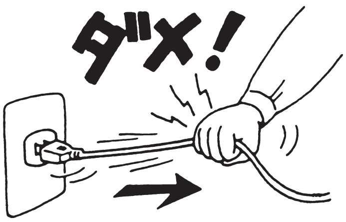


●電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らないこと

電源コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災、感電のおそれがあります。



禁止



■その他

●梱包に使用しているビニール袋をお子様がかぶって遊んだりしないように注意すること

窒息のおそれがあります。

注意

ご使用上のお願い

カラーCRTディスプレイ15型-Aを正しくお使いいただくために、次の注意事項を必ず守ってください。
取り扱いを誤ると、故障や誤動作の原因となります。

■本体の取り扱いと使用環境、および保管場所について

●直射日光が当たる場所、暖房機器の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。
故障、誤動作の原因となります。
使用できる環境は次のとおりです。
温度：5℃～35℃
湿度：30%～80%Rh

●極端に低温になるところに置かないでください。
故障、誤動作の原因となります。

●急激な温度変化を与えないでください。
結露が生じ、故障、誤動作の原因となります。
結露が生じたときは、室内に置き自然乾燥させてから、電源を入れてご使用ください。

●磁石、スピーカなど磁気を発するものの近くに置かないでください。
故障、誤動作の原因となります。

●ほこりの多いところに置かないでください。
故障、誤動作の原因となります。内部にほこりが入ったときは、お買い求めの販売店、またはお近くの保守サービスに点検をご依頼ください。

●振動が強いところに置かないでください。
故障、誤動作の原因となります。

●お手入れするときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。
変質、変形、変色の原因となります。

●ぬれた布で画面をふかないでください。
故障の原因となります。

●製品の上に物をのせたり、物を落としたりしないでください。
破損、故障の原因となります。

●本製品を長時間使用する場合は、健康のために、定期的に休みを取り、目や筋肉をリフレッシュさせてください。

●目などの疲労防止のため、次の使用環境をお守りください。
・表示画面の位置が目の高さよりやや低くなり、目から40～60cm離れるように設置してください。
・表示画面に照明や戸外の光が反射しないように設置してください。
・使用場所の明るさは、新聞を読む程度（約500ルクス）にしてください。
・表示画面と周囲の明るさ（書類やキーボードなど）との差をなるべく小さくしてください。

●表示面を工具など固いものを当てたり、手で強く押したり、こすったりしないでください。
こわれたり、傷やシミがつく原因となります。

■使用上の注意

- ●設置する向きによっては、地磁気の影響を受け、画面が傾いたり、表示色が変わってしまうことがあります。
  画面が傾く場合は、傾斜補正調整を行い、表示色が変わる場合は、手動消磁の操作を行ってください。
- ●CRTディスプレイ同士を近づけて使用しないでください。
  画面が乱れたり、画面に黒い帯状のムラが発生します。
- ●強い磁界を発生する場所でのご使用はさけてください（高圧線、テレビ、ラジオ、モータ、電子レンジなどの近く）。
  画面がゆれたり、傾いたりします。
- ●パソコン本体より省電力機能を使用したり、解除した場合はCRTディスプレイの画面の表示が乱れることがあります。
- ●以下のようなことを行うと、塗装がはげることがありますのでご注意ください。
  - ・キャビネットに、シンナー、ベンジン、殺虫剤などの揮発性のものをかける
  - ・長時間ゴム、ビニール製品などを接触したままにしておく
  - ・化学ぞうきんで拭く
- ●通話中の携帯電話など、強い電波が発生している機器を本機に近づけないでください。
  画面がにじんだりチラツキが発生する場合があります。

■画質について

- ●広い面積にわたり接近した平行線パターンを表示すると、ブラウン管のシャドウマスクとの干渉により、モアレ（しま模様の濃淡ムラ）が発生する場合がありますが故障ではありません。
- ●接続されるパソコン本体によっては、キャラクタなどの線がにじんだ状態になったりする場合があります。
- ●工場出荷設定タイミング以外を入力した場合、正常に表示できない場合があります。
  ☞「付録 3 プリセットタイミング」
- ●長時間同じ画面を表示した場合、焼きつきが発生します。
  動画のスクリーンセーバー等を使用するか、長時間使用しない場合には、本CRTディスプレイの電源を切るようにしてください。

■ＶＣＣＩ

●本装置はＶＣＣＩ（情報処理装置等電波障害自主規制協議会）基準クラスBに適合している製品ですが、住宅地域またはその隣接した地域で使用すると、テレビ、ラジオなどの障害が発生することがあります。テレビ、ラジオなどへの影響がある場合は、以下のことを試みてください。

・テレビ、ラジオの室内アンテナの位置を変える
・テレビ、ラジオに対する本装置の位置を変える
・テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う
・受信機に屋外アンテナを使う
・平行フィーダを同軸ケーブルに変える
・コンセントと機器の電源プラグの間に市販のフィルタを入れる

●本装置をＶＣＣＩに適合していない機器と接続すると、テレビ、ラジオなどに影響が出やすくなりますので、ご注意ください。

■日常のお手入れ

●お手入れの際は、必ず電源コードの差し込みプラグをACコンセントから抜いてください。
●通風口は定期的に清掃してください。
●キャビネットの汚れはやわらかい布で拭いてください。
汚れがひどいときは、水にひたした布を固くしぼって拭き、乾いた布でよく拭いてください。
●ブラウン管は、時々やわらかい布で拭いてください。
傷つきやすいため、固いものでこすったり、たたいたりしないでください。
もし、ブラウン管に水滴が付着した場合は、脱脂綿や、やわらかい布で拭いてください。
放置すると、変色やシミが付く原因となります。

■異常や故障の場合

以下のような場合は、ただちにパソコン本体およびディスプレイの電源を切り、電源コードをACコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはお近くの保守サービスにご相談または修理をご依頼ください。

・電源が入らない
・異常な臭いや過熱・異音
・正しく接続しているにもかかわらず表示されない
・煙が出る

⚠警　告　**ご自分で修理や改造、または分解しないでください。**
火災や感電、ケガのおそれがあります。

■廃棄についてのお願い

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。
（本製品は、プリント基板の製造に使用するはんだには鉛が含まれています。）

●企業でパソコンをご使用のお客様へ
本製品を廃棄するときは、産業廃棄物として扱われます。
東芝は、廃棄品の回収と適切な再使用・再利用処理を有償で実施しています。
使用済みになった東芝製品については、東芝の回収・処理システムをご利用いただきますようお願いいたします。
【お問い合わせ先】
東芝パソコンリサイクルセンター
〒230-0034　神奈川県横浜市鶴見区寛政町20-1　株式会社テルム内
電話番号：045-510-0255
受付時間：9:00～17:00（土・日・祝日、当社指定の休日を除く）
ＦＡＸ　：045-506-7983（受付時間：24時間）

■用途制限について

●本製品は人の生命に直接関わる装置等(*1)を含むシステムに使用できるよう開発、制作されたものではないので、それらの用途に使用しないこと。

***1：人の生命に直接関わる装置等とは、以下のものを言います。**
・生命維持装置や手術室用機器などの医療用機器
・有害ガスなど気体の排出装置および排煙装置
・消防法、建築基準法など各種法律と遵守して設置しなければならない装置など

●本装置を、人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステム(*2)に使用する場合は、システムの運用、維持、管理に関して、特別な配慮(*3)が必要となるので、当社営業窓口に相談してください。

***2：人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステムとは、以下のようなものを言います。**
（原子力発電所の主機制御システム、原子力施設の安全保護系システム、その他安全上重要な系統およびシステム）
（集団輸送システムの運転制御システムおよび航空管制制御システム）
***3：特別な配慮とは、当社技術者と十分な協議を行い、安全なシステム（フール・プルーフ設計、フェール・セーフ設計、冗長設計する等）を構築することを言います。**

■国内向けの仕様です

本製品の仕様は国内向けです。海外での保守サービスは行っておりません。
また、本CRTディスプレイ付属の電源コードは、国内向けAC100Vの仕様です。海外でのご使用はできません。

■再輸送時の注意

本製品を再輸送する場合には、本製品の梱包箱、梱包材を必ずご使用ください。
そのため、梱包箱、梱包材は大切に保管してください。
輸送時における、ディスプレイ本体に加わる衝撃を軽減するため、チルト台を必ずはずして輸送してください。
チルト台の取りはずし方については、「２章 1チルト台の取り付け／取りはずし」を参照してください。

☞ チルト台の取りはずし方について→「２章 1チルト台の取り付け／取りはずし」

はじめに

このたびは東芝「カラーCRTディスプレイ15型-A」をお買い求めいただき、ありがとうございます。
本書は、「カラーCRTディスプレイ15型-A」の取り扱い方法および注意事項について説明しています。
ご使用にあたり、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
本液晶ディスプレイの性能を十分にご活用くださいますようお願いします。
また、本書は必要に応じてお使いいただけるように、取り出しやすい場所に大切に保管してください。

■規約

エネルギースタープログラム

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

電波障害自主規制

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬時電圧低下対策

この装置は、社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

⚠注　意　**本装置の仕様は国内向けになっております。海外では使用できません。**

お願い

次のことをご承知ください。

１．本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは禁止されています。
２．本書の内容については、予告なしに変更することがあります。
３．本書の内容について、万一不可解な点や誤りなど、お気づきの点がございましたら東芝PCダイヤル（巻末参照）までご一報ください。
４．保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

■概要

本製品は、東芝パソコン用オプションの15型のカラーCRTディスプレイです。

- ●高精細フラットスクエア（ドットピッチ0.28mm）ブラウン管採用により、フラットで高精細な表示が可能
- ●最大表示解像度1280×1024ドット対応により、グラフィックスソフトやマルチメディアソフトなどの高解像度を要求するアプリケーションソフトを最適に使用可能
- ●水平周波数30～70kHz、垂直周波数50～120Hzの表示タイミングに自動追従で対応し、マイコン制御により各種のパソコンへの対応が可能
- ●VESA方式に準拠した省電力機能（パワーセーブ）を採用（省電力機能を実現するにはパソコン側の対応が必要です）
- ●画面を自動的に最適にするプラグ＆プレイに対応するため、VESA方式に準拠したDDC1およびDDC2Bディスプレイコントロール方式に対応（パソコン側およびOSの対応が必要です）
- ●D-SUB15ピン信号入力端子の採用
- ●上下左右の角度調整が可能なチルト台付き（チルト台の取り付けが必要です）
- ●各種機能設定状態を画面に表示するオン・スクリーン・ディスプレイ（以降OSDと称します）機能を採用し、輝度、コントラストから画面の歪みなどの細かい微調整が可能

ＶＥＳＡ　：Video Electronics Standards Association
ＣＲＴ　：Cathode Ray Tube
ＤＤＣ　：Display Data Channel

VESA、DDCはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。

メ　モ　本CRTディスプレイは、東芝パソコン本体専用です。そのため、当社以外のパソコン、およびビデオカードに接続した場合、正常に表示しないことがあります。

■同梱物の確認

カラーCRTディスプレイ15型-Aには、以下のものが同梱されています。
すべてが入っていることを確認してください。
万一本商品に不都合な点が生じた場合は、お買い求めの販売店、またはお近くの保守サービスまでご連絡ください。

・カラーCRTディスプレイ15型-A本体	１台
・チルト台	１個
・電源コード	１本
・取扱説明書（本書）	１冊
・保証書	１式

お願い　梱包箱、梱包材は大切に保管してください。
輸送するときなどに必要となります。

本書の読み方

■本書の構成

１章　各部の名称と機能
CRTディスプレイの各部の名称や基本機能について説明しています。

２章　接続方法
チルト台のCRTディスプレイへの取り付け・取りはずし、CRTディスプレイのパソコン本体への接続、角度の調整の方法や注意事項について説明しています。

３章　電源の入れ方、切り方
CRTディスプレイの電源の入れ方、切り方、信号ケーブルがパソコン本体に接続されていない場合の対応方法について説明しています。

４章　ドライバのインストール
CRTディスプレイの製品情報の登録方法について説明しています。

５章　オンスクリーンディスプレイ（OSD）画面調整
CRTディスプレイのOSD機能や設定方法について説明しています。

６章　便利な機能
省電力機能、DDC機能、表示解像度の設定（変更）の高度な機能について簡単に説明しています。

７章　故障かな？と思ったら
CRTディスプレイに不具合が発生したときの対応方法について説明しています。

付録
CRTディスプレイのハードウェア仕様について説明しています。

修理サービスについて
技術的なご質問、修理のご依頼、お問い合わせについて説明しています。

表記上の約束

■記号の意味

各記号には、次のような意味があります。

⚠警　告	**誤った取りあつかいをすると、人が死亡するまたは重傷（じゅうしょう）を負う可能性があることを示しています。**
⚠注　意	**誤った取りあつかいをすると、人が傷害（しょうがい）を負う可能性、または物的損害（ぶってきそんがい）のみが発生する可能性があることを示しています。**
お願い	故障や性能低下を起こさないために守ってほしいこと、仕様や機能に関して知っておいてほしいことを説明しています。
✎メ　モ	知っておくと便利なことを説明しています。
☞	この説明書や他の説明書の参照先を示しています。この説明書の参照先は「」で示し、他の説明書の参照先は『　』で示しています。
（注）	補足説明をしています。

■用語について

本書では、次の用語について定義します。

CRTディスプレイ…………	カラーCRTディスプレイ15型-A本体を示します。
OSD……………………	オンスクリーンディスプレイを示します。
OS………………………	特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシステムを示します。
Windows 95………………	特に説明がない場合は、Microsoft® Windows® 95 Operating System日本語版を示します。
Windows 98………………	特に説明がない場合は、Microsoft® Windows® 98 SECOND EDITION Operating System日本語版を示します。
Windows Me………………	特に説明がない場合は、Microsoft® Windows® Me Millennium Edition日本語版を示します。
Windows NT 4.0…………	特に説明がない場合は、Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0日本語版を示します。
Windows 2000……………	特に説明がない場合は、Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System日本語版を示します。
Windows XP………………	特に説明がない場合は、Microsoft® Windows® XP Professional／Home Edition Operating System日本語版を示します。

TradeMarks

・Microsoft、Windows、Windows NTは米国Microsoft Corporationの米国及び他の国における登録商標です。

もくじ

安心してお使いいただくために…… 2
ご使用上のお願い…… 8
はじめに…… 12
本書の読み方…… 14
表記上の約束…… 15
もくじ…… 16

１章　各部の名称と機能…… 17
1 CRTディスプレイ…… 17

２章　接続方法…… 19
1 チルト台の取り付け／取りはずし…… 19
2 パソコン本体との接続…… 23
3 角度の調整について…… 26

３章　電源の入れ方、切り方…… 27
1 電源の入れ方…… 27
2 電源の切り方…… 28
3 信号ケーブルがパソコン本体に接続されていない場合…… 28

４章　ドライバのインストール…… 29
1 ドライバのインストール…… 29
2 インストール後のドライバの確認…… 32

５章　オンスクリーンディスプレイ（OSD）画面調整…… 33
1 OSD機能について…… 33
2 OSD機能の使い方…… 33

６章　便利な機能…… 40
1 省電力機能について…… 40
2 DDC機能について…… 40
3 表示解像度の変更について…… 41
4 対応周波数を超えた場合について…… 41

７章　故障かな？と思ったら…… 42
1 画面が表示されず、電源表示ランプが点灯しない場合…… 42
2 画面が表示されず、電源表示ランプが点灯する場合…… 42
3 画像が乱れてしまう場合…… 42

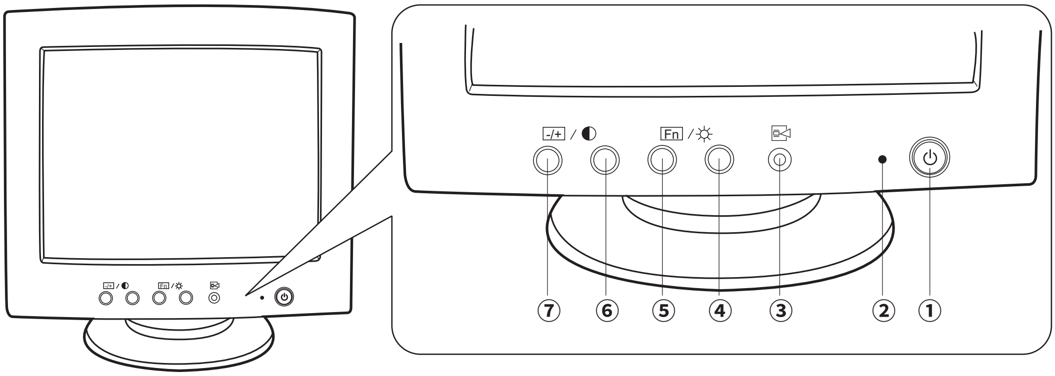
付録…… 43
1 ハードウェア仕様…… 43
2 信号コネクタピンアサイン…… 44
3 プリセットタイミング…… 44

修理サービスについて…… 45

1 各部の名称と機能

1 CRTディスプレイ

前面



(*1)**①電源スイッチ**

電源のON/OFF機能を行うボタンです。

(*2)**②電源表示ランプ**

電源が入って、画面表示しているときは緑色に点灯します。
省電力機能が働いているときは、オレンジ色、または黄色に点灯します。

③OSDメニュー／保存終了ボタン

OSDメニュー画面を起動する場合に使用します。
また、OSDメニュー画面を保存終了する場合に使用します。

④輝度調整アップボタン／メニュー選択時計回り

輝度を上げる場合に使用します。またはOSD機能でのメニュー選択で使用します。

⑤輝度調整ダウンボタン／メニュー選択反時計回り

輝度を下げる場合に使用します。またはOSD機能でのメニュー選択で使用します。

⑥コントラスト調整アップボタン／調整アップ

コントラストを上げる場合に使用します。またはOSD機能での調整に使用します。

⑦コントラスト調整ダウンボタン／調整ダウン

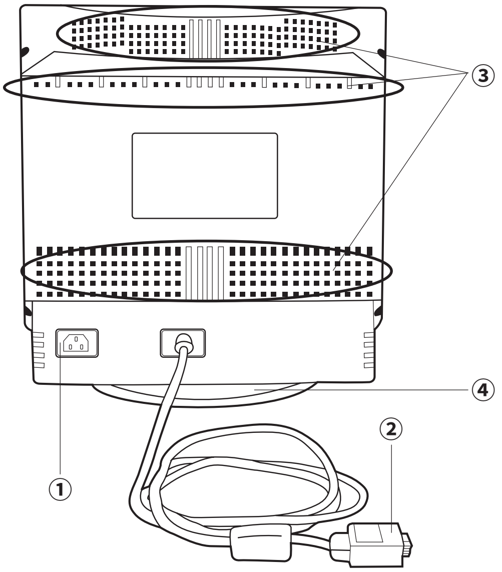
コントラストを下げる場合に使用します。またはOSD機能での調整に使用します。

(*1) 電源を入れた後、画面が表示されるまでに若干の時間を要す場合があります。
また、電源を入れた後は動作が安定するまでに20～30秒がかかります。
その間は自動消磁機能により表示画面がゆれたり、音が発生します。

(*2) 省電力機能は、パソコン本体が省電力モード、もしくは電源をOFFにした場合に働きます。パソコン本体の省電力機能をご利用いただく際は、パソコン本体の取扱説明書を参照してください。

☞『各パソコン本体の取扱説明書』

背面



①電源コネクタ

同梱の電源コードを接続します。

②信号ケーブル

パソコン本体のアナログRGBコネクタに接続します。

③通風口

CRTディスプレイ内部で発生する熱を放熱します。

⚠**注　意**　**通風口をふさがないでください。**
内部に熱がこもると、故障のおそれがあります。

④チルト台

ディスプレイの角度を変えることができます。

⚠**注　意**　**チルト台は必ず取り付けてご使用ください。**
万が一チルト台をはずして使用された場合には、ディスプレイ下部通風口がふさがれて故障の原因となります。

2 接続方法

1 チルト台の取り付け／取りはずし

⚠注　意

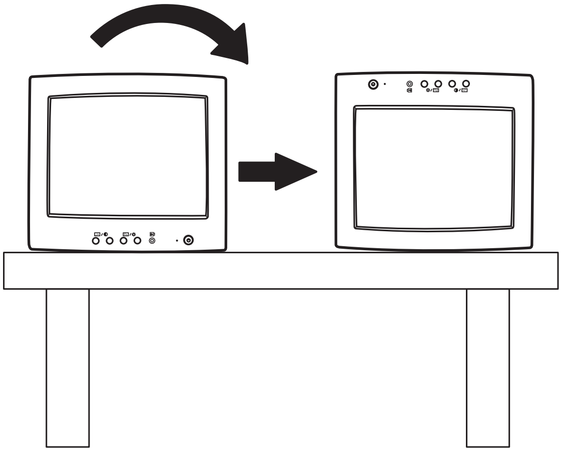
チルト台の取り付け／取りはずしは、CRTディスプレイを裏返して行います。
不安定な状態になり、転倒、落下の危険を伴いますので、次のことをお守りください。
・２人以上で作業を行ってください。
・電源コードは取りはずし、信号ケーブルは巻き込まないように注意して作業を行ってください。
・十分な作業スペースをとってください。
・平坦で滑りにくく、傷の付きにくい場所で作業を行ってください。

取り付け

1 信号ケーブルのコネクタがパソコン本体に接続されていないことを確認する

2 CRTディスプレイに電源コードが接続されていないことを確認する

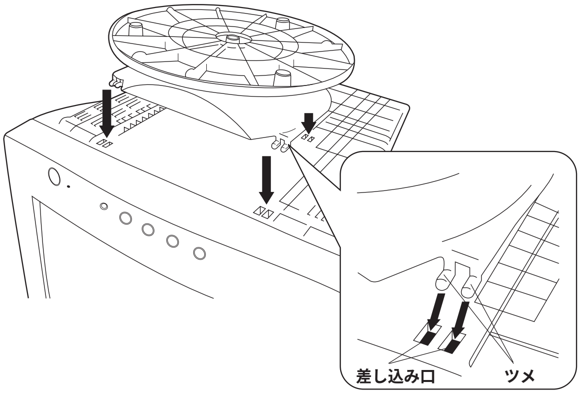
3 信号ケーブルが巻き込まれないように注意し、CRTディスプレイの底面が上向きになるようにゆっくりと横に裏返す



⚠注　意

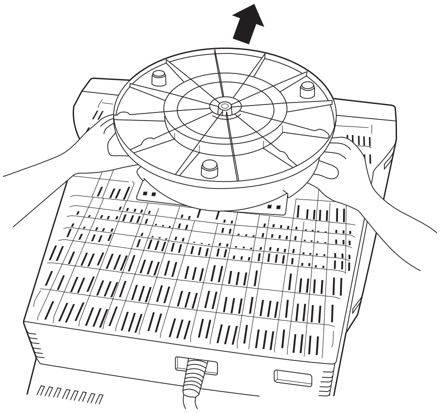
CRTディスプレイの画面を下にしないでください。画面の傷つきや破損のおそれがあります。

4 **チルト台の台座とチルト台を図の向きにし、ツメをCRTディスプレイ底面の差し込み口に差し込む**



5 **CRTディスプレイ背面から図に示すCRTディスプレイの位置を両手でしっかりと押さえ、チルト台を前方向へ押す**

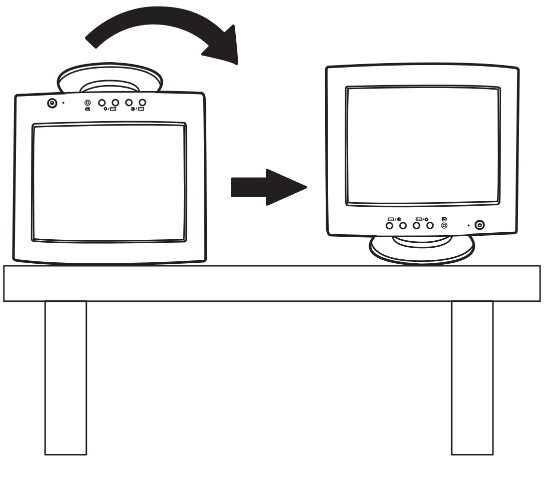
”カチッ”と音がするまで押してください。



⚠**注　意**

チルト台を無理に押し込んだりしないでください。
チルト台のツメがこわれるおそれがあります。

6 **信号ケーブルを巻き込まれないように注意し、チルト台が底面になるようにゆっくりと横に回す**

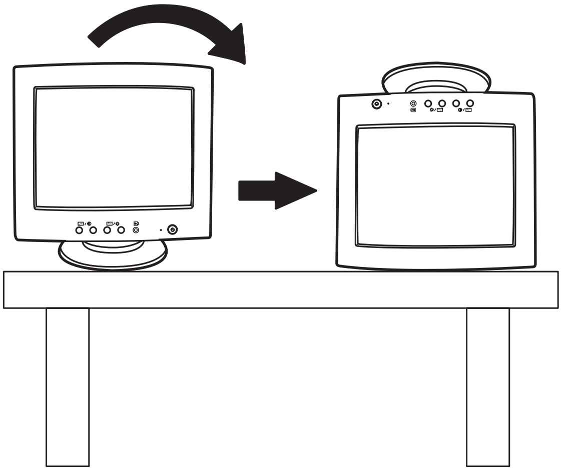


取りはずし

1 信号ケーブルコネクタがパソコン本体に接続されていないことを確認する

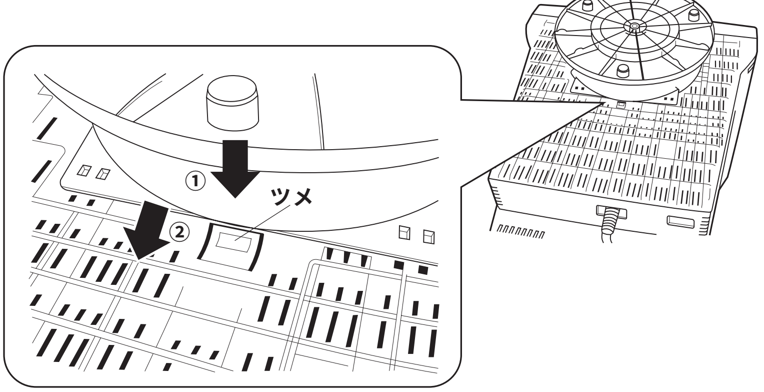
2 CRTディスプレイに電源コードが接続されていないことを確認する

3 信号ケーブルが巻き込まれないように注意し、CRTディスプレイの底面が上向きになるようにゆっくりと横に裏返す



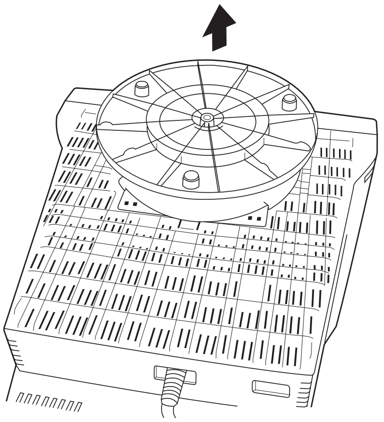
⚠注　意　CRTディスプレイの画面を下にしないでください。画面の傷つきや破損のおそれがあります。

4 チルト台を両手でしっかり押さえ、図に示すようにチルト台背面のツメを矢印 ① で示すように少し下に下げながらチルト台を矢印 ② の方向に引く

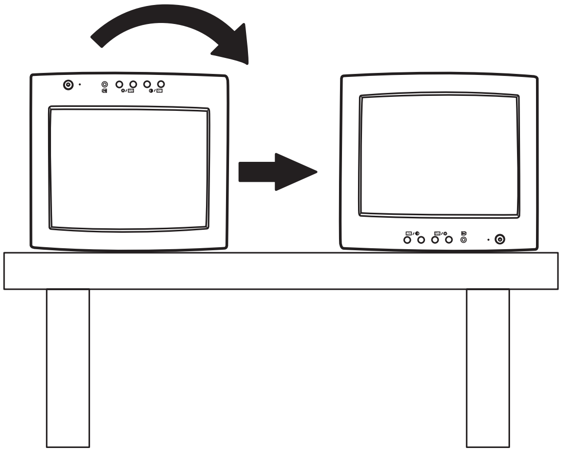


⚠注　意　チルト台を取りはずす際、無理に引っ張ったり持ち上げたりしないでください。チルト台がこわれたり、ケガをするおそれがあります。

5 チルト台を手前に引いた状態で矢印の方向に持ち上げて取りはずす



6 信号ケーブルを巻き込まないように注意し、CRTディスプレイをゆっくりと横に回し、元の状態にする



注　意　CRTディスプレイの画面を下にしないでください。画面の傷つきや破損のおそれがあります。

2 パソコン本体との接続

CRTディスプレイのパソコン本体への接続について説明します。
パソコン本体への接続は、以下のことに注意して作業を行ってください。

取り付けの前に

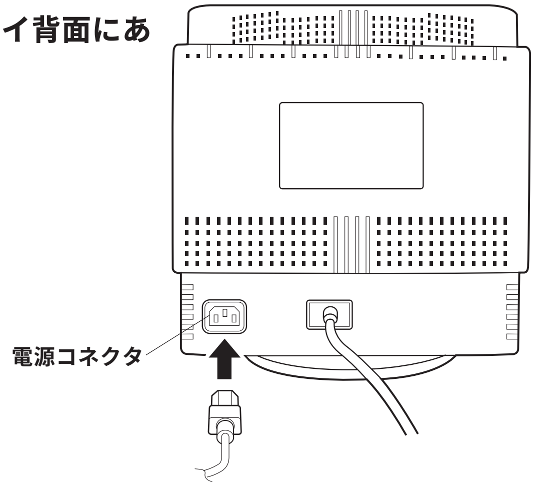
⚠注　意

- 静電気の発生しやすい環境（じゅうたんの上など）での作業は行わないでください。
  静電気を帯びることにより、電子部品が故障することがあります。
- 作業は湿気やホコリの少ない直射日光のあたらない場所で行ってください。
- 接続するパソコン本体は、必ず電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから作業を行ってください。
  電源を入れたまま接続すると、感電、故障のおそれや画面が表示しないことがあります。
- 信号ケーブル、電源コードを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、重いものをのせたりしないでください。
  ショート、断線による故障のおそれがあります。
- 信号ケーブルのコネクタ端子部を直接手で触れないでください。
  故障の原因となります。

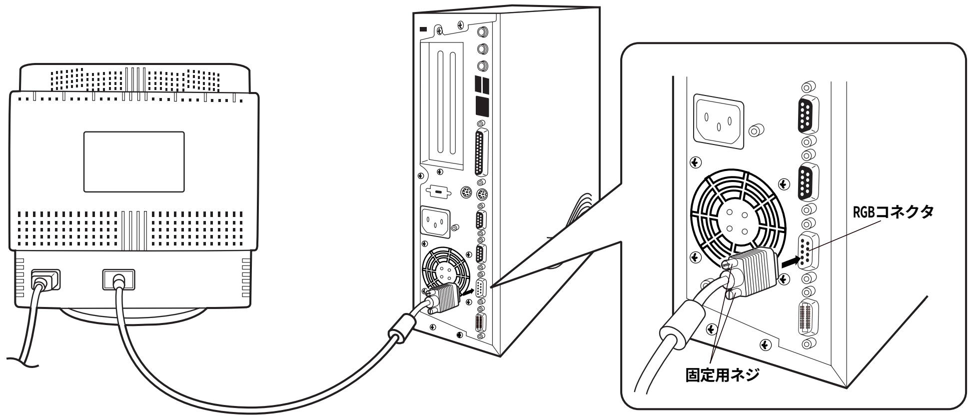
取り付け

1 **CRTディスプレイの電源、パソコン本体の電源が「OFF」になっていることを確認する**

2 **電源コードをCRTディスプレイ背面にある電源コネクタに差し込む**



3 信号ケーブルコネクタをパソコン本体のRGBコネクタに接続し、固定用ネジを手で回して固定する

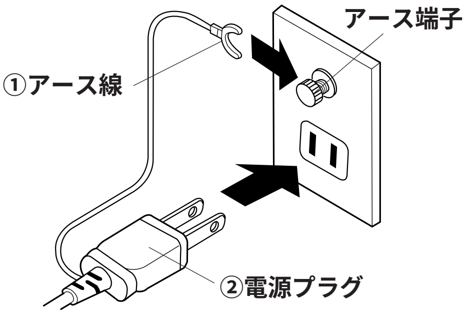


✎メ　モ　パソコン本体のRGBコネクタの位置は機種により異なります。
パソコン本体の取扱説明書でRGBコネクタの位置を確認し、接続してください。

お願い　・固定用ネジは、必ず手で回して固定してください。ドライバなどを使用すると固定用ネジが破損するおそれがあります。

4 電源プラグをACコンセントに差し込む

電源コードを接続する際は、 ①アース線、②電源プラグの順に行ってください。
電源プラグは、確実にACコンセントの奥まで差し込んでください。



⚠注　意
- **必ず付属の電源コードをお使いください。**
  市販の電源コードや他の電気製品の電源コードには、形状が同じでも定格電圧・電流が異なるものがあります。
- **電源コードのプラグから出ているアース線は、安全のため必ずアース端子に接続してください。感電を防止します。**

取りはずしについて

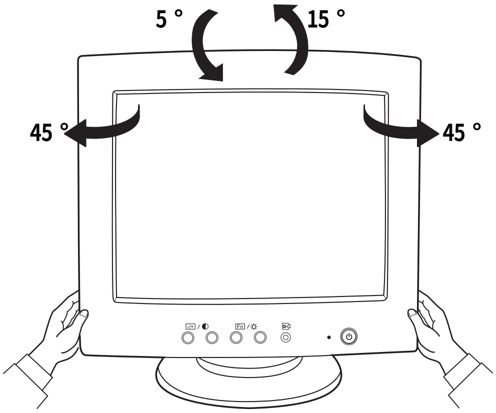
信号ケーブル、電源コードをCRTディスプレイから取りはずす場合は、CRTディスプレイとパソコン本体の電源がOFF側になっていることを確認し、接続と逆の手順で行ってください。
電源コードを取りはずす際は、　①アース線、 ②電源プラグの順に行ってください。

注　意

- **信号ケーブルをパソコン本体から取りはずす場合は、信号ケーブルコネクタの固定用ネジを手で確実に緩め、固定用ネジがRGBコネクタからはずれた状態で取りはずしてください。
緩める際、固定用ネジを強く押し込んだりしないようご注意ください。**
- **固定用ネジがRGBコネクタに接続された状態で、信号ケーブルに負荷（無理に引っ張るなど）をかけると、信号ケーブルの破損、およびパソコン本体、CRTディスプレイの故障原因となります。**

3 角度の調整について

CRTディスプレイの向きを変える場合は、両手で下図の位置を持ち、静かに動かしてください。
画面の左右の向きを変える場合には、下向きに下げてから向きを調整してください。



⚠注　意

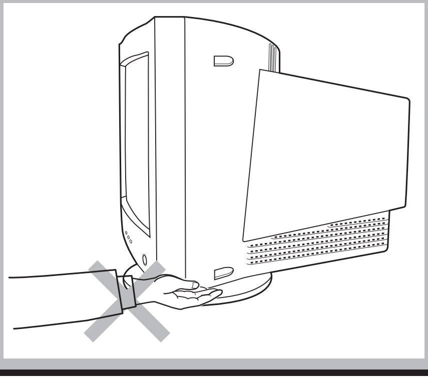
- **CRTディスプレイを上向きに変更する際は、ゆっくりと動かしてください。急激に動かすとディスプレイの背面下部が机と接触して、机を傷つけるおそれがあります。**
- **CRTディスプレイを上向きにしたまま画面の向きを変更しないでください。画面を上向きにしたまま左右の向きを調整した場合には、チルト台を破損するおそれがあります。**

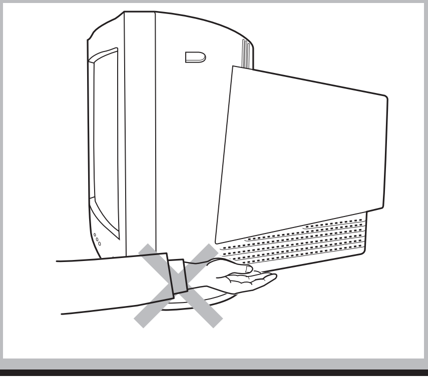
お願い

- 無理に図の角度以上に動かさないでください。
- 腕や肘で、もたれかからないでください。

⚠注　意

CRTディスプレイの向きを変えたり、移動する場合は、下図に示す、本体と台座の間に手を入れないでください。
手や指を挟み、けがをするおそれがあります。





3 電源の入れ方、切り方

1 電源の入れ方

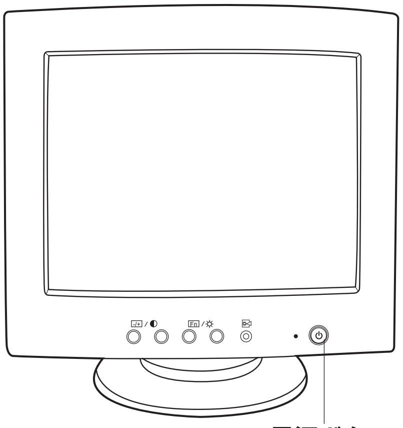
パソコン本体、およびCRTディスプレイの電源の入れ方、切り方について説明します。
操作を行う前に、CRTディスプレイがパソコン本体に接続されていることを確認してください。

☞「2章　接続方法」

1 CRTディスプレイがパソコン本体に接続されていることを確認する

2 CRTディスプレイの電源スイッチを押す

電源スイッチを押したとき、電源表示ランプは緑色に点灯した後、オレンジ色に点灯します。



3 パソコン本体の電源を入れる

パソコン本体の電源を入れたとき、電源表示ランプは緑色に点灯します。
パソコン本体の電源の入れ方については、機種により異なります。
詳細は、各パソコン本体の取扱説明書を参照ください。

☞『各パソコン本体の取扱説明書』

2 電源の切り方

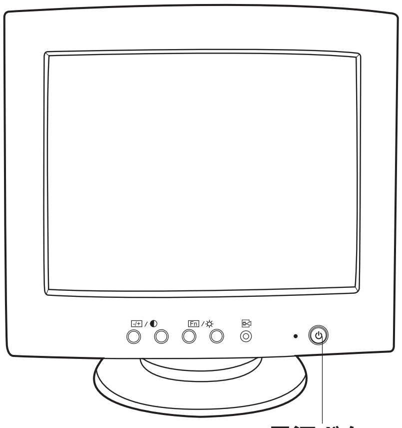
1 パソコン本体の電源を切る

CRTディスプレイの電源表示ランプはオレンジ色に点灯します。
パソコン本体の電源の切り方については、機種により異なります。
各パソコン本体の取扱説明書を参照ください。

☞『各パソコン本体の取扱説明書』

2 CRTディスプレイの電源スイッチを押す

電源スイッチはしっかり奥まで押し込んでください。
CRTディスプレイの電源表示ランプは消えます。



3 信号ケーブルがパソコン本体に接続されていない場合

CRTディスプレイの信号ケーブルがパソコン本体のRGBコネクタに接続していない状態で、CRTディスプレイの電源を入れた場合は、電源表示ランプはオレンジ色に点灯しています。

4 ドライバのインストール

1 ドライバのインストール

本製品と接続するパソコン本体にインストールされたOSがWindows 98/Me、Windows 95、Windows 2000、Windows XPの場合には、パソコン本体のプラグアンドプレイ機能によって、ディスプレイの製品情報が登録されます。
ここでは、OSがWindows 98/Meの場合のディスプレイの製品情報の登録方法について説明します。

Windows 98/Meの場合

1 CRTディスプレイ、パソコン本体の順に電源を入れる

☞CRTディスプレイ→「3章　電源の入れ方、切り方」
☞パソコン本体→『各パソコン本体の取扱説明書』

OSが起動し、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動し、[プラグ アンド プレイ モニタ]が表示されます。

2 「次へ」ボタンをクリックする

検索方法を選択する画面が表示されます。

3 「次へ」ボタンをクリックする

右の画面が表示されます。

4 「次へ」ボタンををクリックする

右の画面が表示されます。

5 「次へ」ボタンをクリックする

右の画面が表示されます。

6 「完了」ボタンをクリックする

以上でドライバのインストールは完了です。

2 インストール後のドライバの確認

Windowsのデバイスマネージャを使って製品の情報が登録されているかどうかの確認をすることができます。

Windows 98/Me/95の場合

1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックする

[コントロールパネル]画面が表示されます。

2 「システム」アイコンをダブルクリックする

[システムのプロパティ]画面が表示されます。

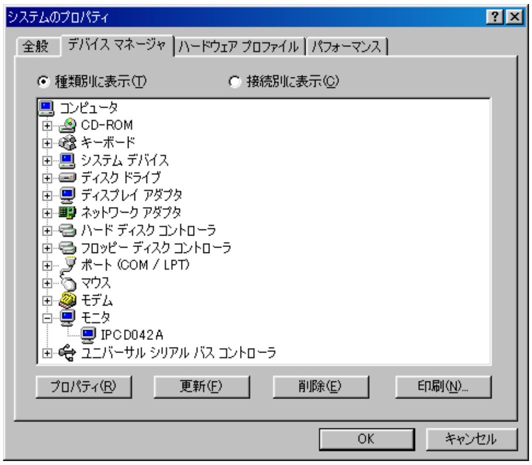
3 「デバイスマネージャ」のタブをクリックする

[デバイスマネージャ]画面が表示されます。

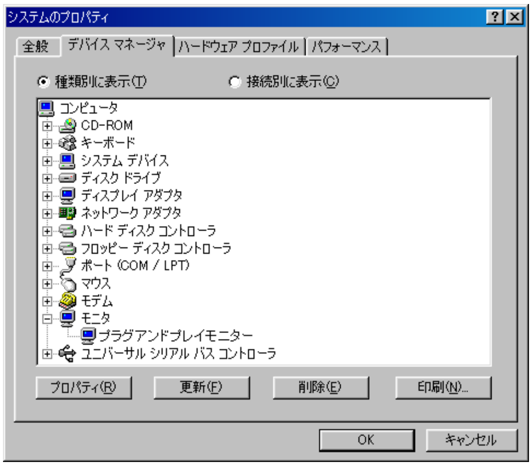
4 「モニタ」をダブルクリックする

以下のように本製品名「IPCD042A」または「プラグアンドプレイモニター」（Windows 95の場合）が表示されていることを確認してください。

Windows 98/Meの場合



Windows 95の場合



5 オンスクリーンディスプレイ(OSD)画面調整

パソコン本体からの各種の出力タイミングに対応するため、工場出荷設定タイミングとして6個のプリセットタイミングモードが設定してあります。
また、プリセットタイミング以外については、ニュータイミングモードとなり、ユーザがOSD機能によって調整することができ、最大28個まで記憶することができます。

プリセットタイミングモード	画面の位置、サイズ、歪み等が最良の状態で表示できます。ただし、パソコン本体の仕様および設置場所によっては調整が必要な場合があります。
ニュータイミングモード	プリセットタイミングモード以外のタイミングであり、最良な画面表示ができない可能性があります。パソコン本体側の設定をプリセットタイミングモードへの変更を推奨します。

プリセットタイミングについて→「付録　3プリセットタイミング」

1 OSD機能について

OSD機能は、画面上で各種機能を調整をすることができます。
画面表示の上下左右が欠けていたり、位置がずれていたり、歪みが発生した場合は、OSD機能により調整を行ってください。

2 OSD機能の使い方

OSD機能の使い方について説明します。
CRTディスプレイ、パソコン本体の電源が入っていることを確認してください。

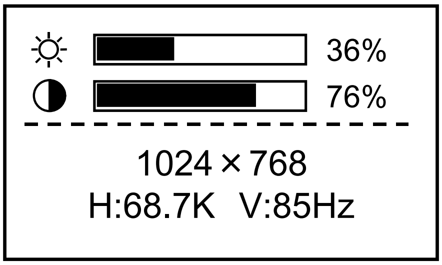
直接調整（輝度調整・コントラスト調整）

輝度調整	輝度調整を行うことにより、輝度（明るさ）を調整することができます。
コントラスト調整	コントラスト調整を行うことにより、コントラスト（明るさ）を調整することができます。

次の手順で調整を行います。

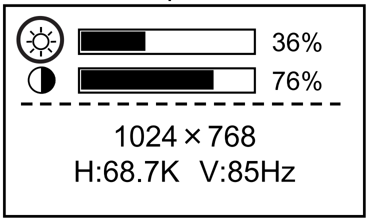
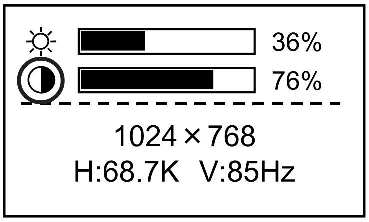
1 輝度調整アップ／ダウンボタン、コントラスト調整アップ／ダウンボタンのいずれかを押す

以下の画面が表示されます。



2 輝度調整アップ／ダウンボタン、コントラスト調整アップ／ダウンボタンで各調整モードを調整する

各調整モードでの調整方法は以下のとおりです。

調整モード	調整内容／調整方法
輝度調整（☼）  	①輝度調整アップボタン、またはダウンボタンを押し、調整する 調整画面の（☼）が赤く表示されます。 ・画面の輝度を上げる場合 [輝度調整アップボタンを押して調整する] ・画面の輝度を下げる場合 [輝度調整ダウンボタンを押して調整する]
コントラスト調整（◐）  	①コントラスト調整アップボタン、またはダウンボタンを押し、調整する 調整画面の（◐）が赤く表示されます。 ・画面のコントラストを上げる場合 [コントラスト調整アップボタンを押して調整する] ・画面のコントラストを下げる場合 [コントラスト調整ダウンボタンを押して調整する]

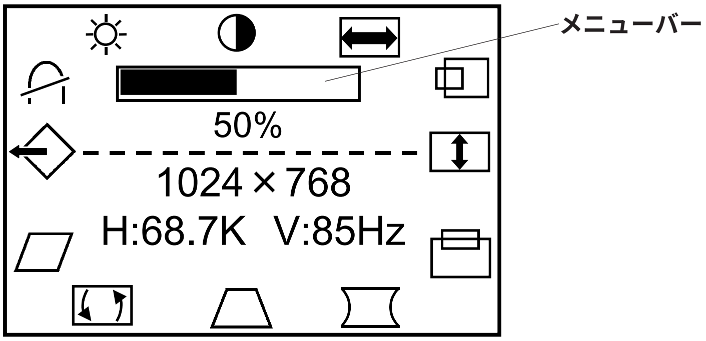
各調整が終了後、約10秒で自動的に終了し、設定内容が記憶されます。

OSDメニュー画面を使っての調整

✎メ　モ
・画素ごとに交互に違う色や輝度を表示することによって、チラツキが発生することがあります。
・画面がちらついたり、不安定なときには、垂直走査周波数（リフレッシュレート）を変更することにより改善できる場合があります。
変更方法の詳細についてはパソコン本体の取扱説明書を参照してください。

☞『各パソコン本体の取扱説明書』

OSDメニュー調整画面



次の手順で調整を行います。

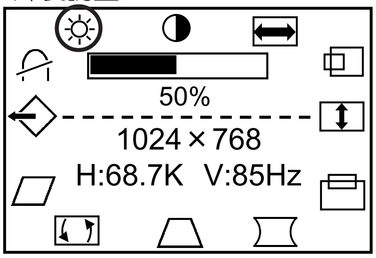
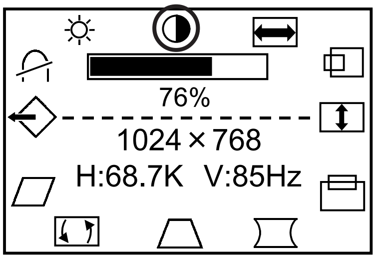
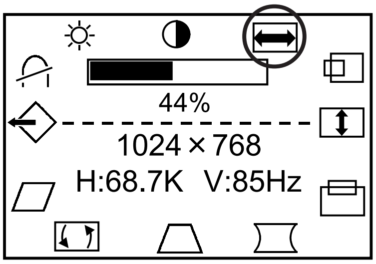
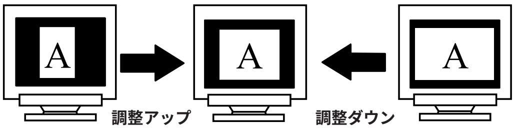
1 OSDメニュー／保存終了ボタンを押す

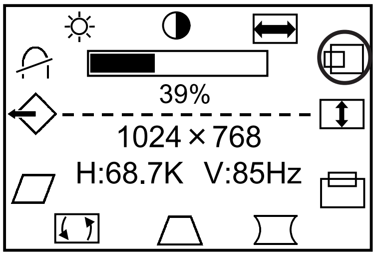
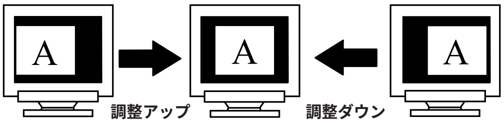
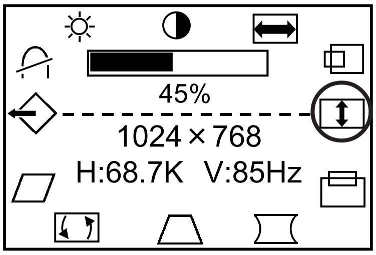
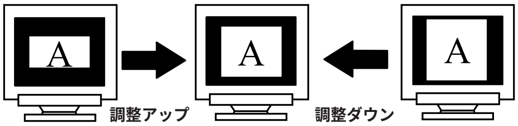
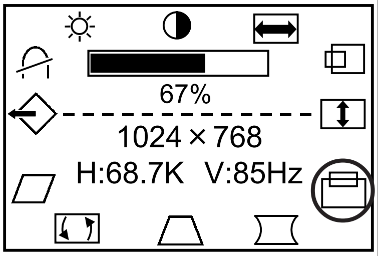
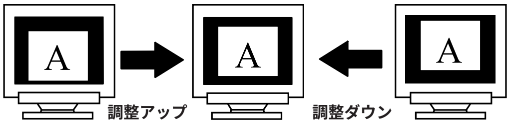
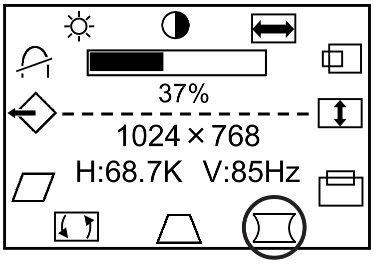
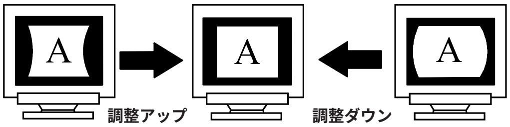
OSDメニュー画面が表示されます。

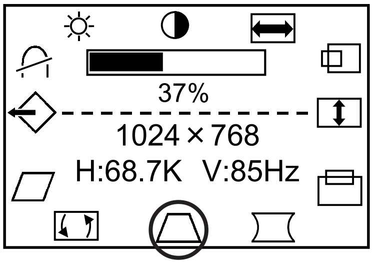
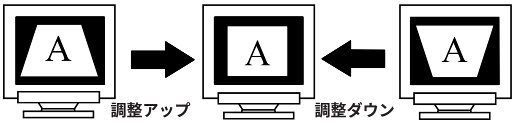
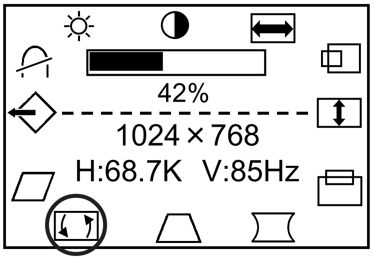
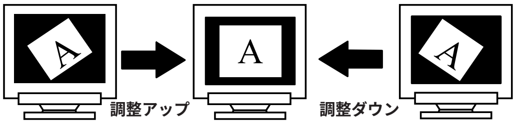
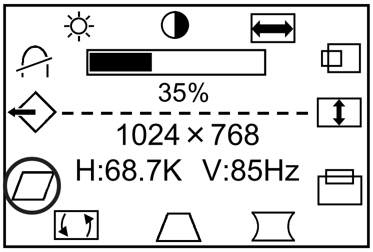
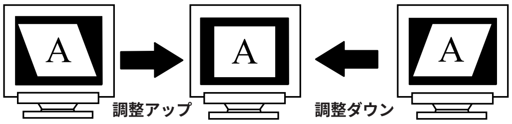
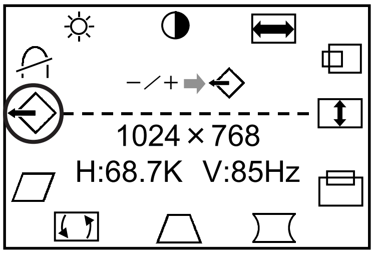
2 メニュー選択時計回りボタン、または反時計回りボタンより、調整する項目を選択する

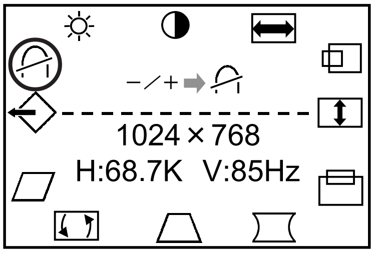
3 調整アップボタン、またはダウンボタンで各調整モードを調整する

各調整モードでの調整方法は以下のとおりです。

調整モード	調整内容／調整方法
輝度調整  	輝度を調整することができます。 ・輝度を上げる場合 [調整アップボタンを押して調整する] ・輝度を下げる場合 [調整ダウンボタンを押して調整する]
コントラスト調整  	コントラストを調整することができます。 ・コントラストを上げる場合 [調整アップボタンを押して調整する] ・コントラストを下げる場合 [調整ダウンボタンを押して調整する]
水平振幅補正  	水平振幅補正を行うことにより、画面の水平サイズを変更することができます。 ・画面の水平サイズを大きくする場合 [調整アップボタンを押して調整する] ・画面の水平サイズを小さくする場合 [調整ダウンボタンを押して調整する] 

調整モード	調整内容／調整方法
水平位置補正 	水平位置補正を行うことにより、画面を左右方向に調整することができます。 ・画面を右方向に移動する場合 [調整アップボタンを押して調整する] ・画面を左方向に移動する場合 [調整ダウンボタンを押して調整する] 
垂直振幅補正 	垂直振幅補正を行うことにより、画面の垂直サイズを変更することができます。 ・画面の垂直サイズを大きくする場合 [調整アップボタンを押して調整する] ・画面の垂直サイズを小さくする場合 [調整ダウンボタンを押して調整する] 
垂直位置補正 	垂直位置補正を行うことにより、画面を上下方向に調整することができます。 ・画面を上方向に移動する場合 [調整アップボタンを押して調整する] ・画面を下方向に移動する場合 [調整ダウンボタンを押して調整する] 
樽型、糸巻き歪み補正 	樽型、糸巻き歪み補正を行うことにより、画面の樽型、糸巻き歪みを補正することができます。 ・画面の糸巻き歪みを調整する場合 [調整アップボタンを押して調整する] ・画面の樽型歪みを調整する場合 [調整ダウンボタンを押して調整する] 

調整モード	調整内容／調整方法
台形歪み補正 	台形歪み補正を行うことにより、画面の台形歪みを補正することができます。 ・画面の上側を拡げる場合 [調整アップボタンを押して調整する] ・画面の下側を拡げる場合 [調整ダウンボタンを押して調整する] 
傾斜補正 	傾斜補正を行うことにより、画面を右回り、または左回りに回転することができます。 ・画面を時計回り（右回り）に回転する場合 [調整アップボタンを押して調整する] ・画面の反時計回り（左回り）に回転する場合 [調整ダウンボタンを押して調整する] 
平行四辺形型歪み補正 	平行四辺形型歪み補正を行うことにより、画面の平行四辺形歪みを補正することができます。 ・画面が左傾きの場合 [調整アップボタンを押して調整する] ・画面が右傾きの場合 [調整ダウンボタンを押して調整する] 
工場出荷時設定 	すべてのOSDの調整項目を工場出荷時に戻すことができます。 ただし、パソコン本体からプリセットタイミング以外が出力された場合には、工場出荷時の状態には戻りません。 輝度調整、コントラスト調整、傾斜補正に関しては、入力タイミングに関係なく、工場出荷時の状態には戻れません。 [調整アップボタン、またはダウンボタンを押す] 工場出荷時の設定に戻ります。

調整モード	調整内容／調整方法
手動消磁 	ディスプレイが磁化されて色むらが発生した場合に消磁します。 [調整アップボタン、またはダウンボタンを押す] 画面が揺れて、消磁が行われます。

4 調整が終了したら0SDメニュー／保存終了ボタンを押す

設定内容が記憶され、0SD機能が終了します。

設定が終了後、何も操作しない場合、約10秒で自動的に終了し、設定内容が記憶されます。

6 便利な機能

本CRTディスプレイでは、便利な機能として、省電力機能、DDC機能、表示解像度の変更があります。
ただし、いずれの機能についてもご使用になるパソコン側の対応が必要です。
ここでは、省電力機能、DDC機能、表示解像度の設定（変更）について簡単に説明します。

1 省電力機能について

省電力機能は、パソコン本体からの入力信号状態により働きます。
省電力機能を働かせるためには、パソコン側の対応が必要です。

省電力の種類	表示ランプ	水平同期信号	垂直同期信号	消費電力	画面の復帰時間
スタンバイモード	黄色	無し	有り	5W以下	約15秒
サスペンドモード	黄色	有り	無し	5W以下	約15秒
オフモード	オレンジ色	無し	無し	5W以下	約15秒

省電力の設定について

本CRTディスプレイの省電力は、パソコン本体より設定することができます。
パソコン本体より設定する省電力（スタンバイモード、サスペンドモード、オフモード等）は、パソコン本体の仕様により異なります。
詳細については、各パソコン本体に付属の取扱説明書を参照してください。

☞『各パソコン本体の取扱説明書』

2 DDC機能について

本CRTディスプレイでは、VESA準拠のDDC機能を持っており、画面を自動的に最適にするプラグ&プレイに対応しています。
ただし、パソコン本体、およびOSが対応していない場合は、DDC機能は使用できません。パソコン本体に付属の取扱説明書でご確認ください。

☞『各パソコン本体の取扱説明書』

3 表示解像度の変更について

表示解像度やリフレッシュレートの変更の際は、本CRTディスプレイにサポートしている設定にしてください。
サポートしている表示解像度、リフレッシュレートについては、「付録3プリセットタイミング」を参照してください。

⚠注　意　**サポートしていない表示解像度やリフレッシュレートを設定すると、正常に表示しなかったり、本CRTディスプレイの故障の原因となります。**

表示解像度の変更方法について

パソコン本体にインストールされているOS上より表示解像度の変更を行うことができます。
設定方法についてはOSにより異なることがあります。
詳細については、パソコン本体の取扱説明書や各OS上にあるヘルプを参照のうえ、操作してください。

⚠注　意　**本CRTディスプレイの最大解像度は、1280×1024画素までです。**
表示解像度の設定で、1280×1024画素を越えないようにご注意ください。

☞『パソコン本体の取扱説明書』、『各OS上にあるヘルプ』

4 対応周波数を超えた場合について

本CRTディスプレイでは、ハードウェア仕様の走査周波数を超えた場合には右のようなメッセージを表示します。
本メッセージが表示された場合には、パソコン本体の取扱説明書を参照のうえ、ハードウェア仕様範囲内の走査周波数に変更してください。

```
OUT OF RANGE
H:30-70KHz
V:50-120Hz
PC DISPLAY SETTINGS
CORRECT?
```

7 故障かな？と思ったら

1 画面が表示されず、電源表示ランプが点灯しない場合

●電源コードの電源プラグが確実に接続されているかを確認し、CRTディスプレイの電源表示ランプが点灯しているかどうかを確認してください
電源コードの電源プラグが接続されていない場合は、パソコン本体の電源、およびCRTディスプレイの電源がOFFになっていることを確認してから接続を行ってください。
●再度、電源スイッチをONにし、電源表示ランプが点灯するかどうかを確認してください。
●電源コードが破損（断線）されているおそれがありますので、ただちにパソコン本体およびCRTディスプレイの電源を切り、電源コードを確認してください。
破損（断線）している場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの保守サービスにご相談ください。

2 画面が表示されず、電源表示ランプが点灯する場合

●省電力モード（スクリーンセーバーなど）になっている場合がありますのでマウスやキーボードを操作するなどして、パソコン本体側の省電力モードを解除してください。
●輝度調整を変えて画面を確認してください。
●信号ケーブルが確実にパソコン本体、またはCRTディスプレイのRGBコネクタに接続されているか、確認してください。
接続されていない場合は、CRTディスプレイの信号ケーブルをパソコン本体に接続してください。
●本CRTディスプレイの工場出荷設定タイミング以外のタイミングが入力されているか、確認してください。
OS上の表示解像度やリフレッシュレートにて変更を行うことができます。

3 画像が乱れてしまう場合

●通話中の携帯電話など、強い電波が発生している機器をCRTディスプレイに近づけているか、確認してください。

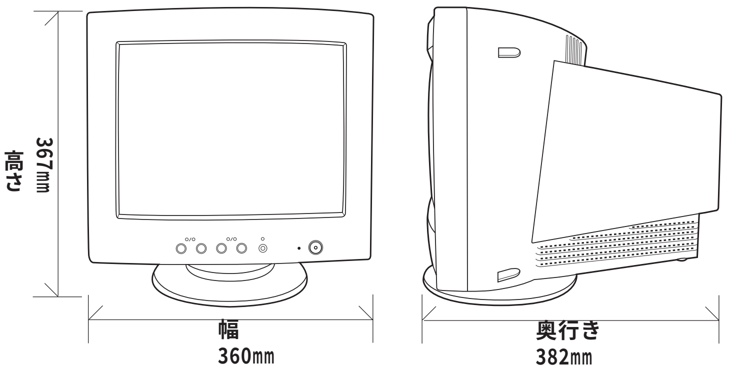
4 画面のサイズや表示位置等おかしい場合

●OSD機能より調整してください。
●本CRTディスプレイの工場出荷設定タイミング以外のタイミングが入力されているか、確認してください。
OS上の表示解像度やリフレッシュレートにて変更を行うことができます。

付録

1 ハードウェア仕様

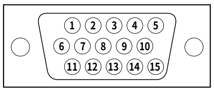
型番		**IPCD042A**
名称		カラーCRTディスプレイ15型-A
表示	画面サイズ	260(W)×195(H)mm
	画素ピッチ	0.28mm
	表示画素数	最大　1280×1024画素
入力信号		映像信号：アナログRGB（0.7Vp-p） 同期信号：TTL相当　水平、垂直分離
走査周波数		水平：30-70kHz　　垂直：50-120Hz
工場出荷タイミング		6モード
入力コネクタ		D-SUB　15ピン　3列
調整機能		輝度調整、チルト調整
画面角度調節		垂直方向（チルト）：5～15度　水平方向（左右）-45～45度
電波規格		VCCI-B
省電力		エナジースター準拠
プラグ&プレイ		VESA-DDC1/2B準拠
温度	動作時	5～35℃
	非動作時	-20～60℃
湿度	動作時	20～80%Rh（ただし、結露しないこと）
	非動作時	10～90%Rh（ただし、結露しないこと）
電源	電源電圧	AC100V　50/60Hz
	消費電力	最大75W（省電力モード時：5W以下）
外形寸法		360(W)×367(H)×382(D)mm （チルト台が付いた状態）
質量		約12.5kg
仕向地		国内



2 信号コネクタピンアサイン

ピン番号	意　味	ピン番号	意　味
１	赤色信号	９	未使用
２	緑色信号	10	同期信号の接地
３	青色信号	11	接地
４	未使用	12	ＳＤＡ通信信号（双方向）
５	接地	13	水平同期信号
６	赤色信号の接地	14	垂直同期信号
７	緑色信号の接地	15	ＳＣＬデータクロック信号
８	青色信号の接地		

コネクタ図



Ｄ-ＳＵＢ　１５ピンオス（３列タイプ）

3 プリセットタイミング

表示解像度		走査周波数	
水平（ドット）	垂直（ライン）	水平（kHz）	垂直（Hz）
640	480	31.5	60
800	600	46.9	75
		53.7	85
1024	768	60.0	75
		68.7	85
1280	1024	64.0	60

メ　モ・プリセットタイミング以外の表示タイミングが入力された場合、OSDメニュー画面で調整を行っても調整しきれない場合があります。

修理サービスについて

●異常や故障が発生したら、次の①～③の内容をご確認のうえ、「この製品のご使用上のお問い合わせ窓口（巻末を参照してください）」までご連絡ください。

①使用している機器の名称

②ご購入年月日、ご購入先

③現在の状態（できるだけ詳細に）

●保証期間中の修理については、保証書の記載内容により、無料修理いたします。

●保証期間経過後の修理については、「この製品のご使用上のお問い合わせ窓口（巻末を参照してください）」までご連絡ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。

（修理に代わって同等品と交換させていただくことがあります）

●海外での修理サービスについて

本製品の仕様は日本国内向けとなっておりますので、海外では修理をお受けすることはできません。

●修理依頼される場合のお願い

・修理はセンドバックでのみお受けいたしております。
お持ち込みでの修理はお受けいたしておりません。

・お送りいただく場合の送料、梱包費用は保証期間の有無を問わずお客様のご負担となります。

・保証期間中の場合は、保証書を商品に添付してください。

・保証期間経過後の修理については、お見積もりの必要の有無、または修理費限度額および連絡先を明示のうえ、商品に添付してください。

・修理依頼品は緩衝材に包んでダンボール箱（本製品の梱包箱、梱包材を推奨します）に入れて、破損しないようにご注意のうえ、お送りください。

送付先

東芝PC IOS センター

〒261-8580 千葉県千葉市美浜区真砂5-20-7 TOPSビル4F

TEL 043-278-5970

FAX 043-278-9035

MEMO

MEMO

日本国内用です

本機を使用できるのは日本国内のみです。

This product can not be used in foreign country as designed for Japan only.

お客様ご相談窓口

この製品のアフターサービスは、下記の「お問い合わせ先」にて承っております。

この製品のご使用上のお問い合わせ窓口

◆受付時間◆

9:00〜12:00　13:00〜17:00

土曜、日曜、祝祭日、指定休日を除く

東芝ＰＣ　ＩＯＳセンター

TEL　043-278-5970

FAX　043-278-9035

カラーCRTディスプレイ15型-A取扱説明書

2002年7月　　Ａ２版発行

発　行　株式会社 東芝　デジタルメディアネットワーク社

ＰＣ事業部

〒105-8001　東京都港区芝浦一丁目1番1号

http://www5.toshiba.co.jp/pcss/

Ⓒ 2002　TOSHIBA CORPORATION ALL RIGHTS RESERVED　　無断複製および転載を禁ず